

平成26年度農山漁村男女共同参画優良活動表彰 受賞者について

平成26年度農山漁村男女共同参画優良活動表彰の受賞個人・組織が決定しましたので、お知らせします。なお、本表彰式は、毎年3月10日が「農山漁村女性の日」であることに伴い、3月第一週を中心にした「農山漁村女性の日」ウィークのイベントとして、当日は、有限責任監査法人トーマツ農林水産業ビジネス推進室主催の「アグリビジネスサミット featuring Women グランドフィナーレ」との合同プログラムとして開催します。

〈平成26年度農山漁村男女共同参画優良活動表彰〉

1. 目的

農山漁村において女性は、農業就業人口の過半を占めているとともに、起業活動等により、地域において活躍している。しかしながら、農業委員や農協役員等に占める女性の割合は低く、地域の指導的立場への女性の登用は進んでいない。

政府として、「2020年までに指導的地位に女性が占める割合を少なくとも30%程度」とすることを目指しており、他分野に比べ遅れている農山漁村において、女性の登用を進めることが急務である。

このため、次世代を担う地域リーダーとなることが見込まれている若手女性及び女性の参画を積極的に推進している組織等を表彰することにより、農山漁村における男女共同参画の取組の推進に資するものとする。

2. 受賞個人・組織

I. 次世代を担う若手地域リーダー部門

農林水産大臣賞

・栃木県 大田原市 前田 智恵子

農林水産副大臣賞

・富山県 黒部市 濱田 律子

農林水産大臣政務官賞

・鹿児島県 指宿市 湯ノ口 久仁子

II. 組織における女性登用部門

農林水産大臣賞

・岩手県 岩手町 岩手町農業委員会

農林水産副大臣賞

・愛媛県 今治市 越智今治農業協同組合

農林水産大臣政務官賞

・埼玉県 行田市 加須地区女性農業者連絡協議会

【表彰式等（農山漁村男女共同参画優良活動表彰）】

日時 平成27年3月4日（水）

（アグリビジネスサミット featuring Women グランドフィナーレのプログラムの中で）

表彰式 10：20～11：00（*農山漁村女性・シニア活動表彰の表彰式を同時に実施予定）

活動報告 11：20～12：00

（農山漁村女性・シニア活動表彰、農山漁村男女共同参画優良活動表彰の大臣賞受賞者4名による）

場所 東京証券会館 8階ホール

東京都中央区日本橋茅場町1丁目5-8 電話 03-3667-9210

主催 農山漁村男女共同参画推進協議会

後援 (農山漁村男女共同参画優良活動表彰)

農林水産省、全国森林組合連合会、全国漁業協同組合連合会、全国農業協同組合中央会

共催 有限責任監査法人トーマツ農林水産業ビジネス推進室

問い合わせ先

農山漁村男女共同参画推進協議会

事務局

(一社) 農山漁村女性・生活活動支援協会内
東京都港区芝公園 2-6-8 日本女子会館 4階

担当：齋藤、村上

電話：03-5777-5383

平成26度 農山漁村男女共同参画優良活動表彰 受賞個人・組織 活動概要

次世代を担う若手地域リーダー部門

賞の名称	都道府県名	受賞者氏名	概要
農林水産大臣賞	栃木県 大田原市	前田 智恵子	他産業従事後、父が経営する「株式会社前田牧場」に勤務する中で、BSE発生の影響により、牛肉価格の下落を経験し、「自ら価格を決め販売したい」、「安全で安心できる肉を直接消費者に届けたい」という信念の下、平成14年からレトルトカレーの委託製造・販売、ミートショップ・ファーマーズカフェの開店と「自分に合った農業経営」を開始した。現在、専務取締役として株式会社前田牧場の農業経営に積極的に参画。近年、赤身肉が注目されていることから赤身の肉を美味しくするためにドライエイジング技術を用いた食肉加工にも取り組む。更に、農業体験の受入れに積極的に取り組むとともに農業・農村生活の豊かさや暮らし方の伝承、地域人材の活用など幅広く活躍している。
農林水産副大臣賞	富山県 黒部市	濱田 律子	平成17年に旅行代理店を退社し結婚、18年から就農した。水稻の育苗作業、経営管理、米の販売管理などの部門を担い、平成24年に認定農業者となった。米は直接、消費者に販売しており、お米の正しい情報を伝えようと、自らが農産物検査員・米食味鑑定士の資格を取得し、米に関する知識とスキルを高めた。さらに、県内の農、食、環境に興味のあるシェフ、主婦等で構成された「富がえりのレシピ」実行委員会において、農業と食に関する情報提供を行うなど活動範囲を広げている。
農林水産大臣政務官賞	鹿児島県 指宿市	湯ノ口 ^{ゆ ぐち} 久仁子	看護師を経て平成12年に夫と共に就農。オクラ、そらまめ、スナッフエンドウなどを栽培。インターネットによる農産物販売、出前授業、農業体験受け入れなど、夫と共に「自分達らしい今までにない新しい農業のスタイル」を実践。平成21年に「株式会社アグリスタイル」を設立、社員として新規就農者を積極的に受け入れるほか、異業種組織「Joylinkいぶすき」を設立。平成22年には「かえるの学校」を開校、「指宿グリーンツーリズム協議会」を立ち上げ、事例収集や体験プログラムの作成等を行うなど、指宿ならではの食育の拠点づくりを行っている。

II. 組織における女性登用部門

賞の名称	都道府県名	都道府県などの推薦者	受賞者氏名 受賞組織名	組織の種類	活動内容
農林水産大臣賞	岩手県	岩手県 農業会議	<small>いわて まち</small> 岩手町農業委員会	農業委員会	「岩手町農業女性連携会議」への活動支援等を通じて女性が農業委員選挙に出やすい環境づくりに努めるなどの取り組みにより、女性農業委員が6名と県内一となり、女性農業委員の割合が32%、さらに、岩手県内初の女性の農業委員会会長も誕生した。女性農業委員の意見・提言が農業委員会の事業計画及び活動に反映され、家族経営協定締結の促進や農業委員会研修会等が行われている。
農林水産副大臣賞	愛媛県	愛媛県農業 協同組合中 央会	<small>おち いま ぱり</small> 越智今治農業協同組 合	農業協同組合	女性が正組合員の30.6%、総代の21.5%と全国平均を大きく上回り、県内JAの模範となっている。女性部、助けあい組織、JA女子大学の運営等により、地域女性の活躍の場づくりを実施。JAの職場では、女性ライン管理職登用等により管理職の7.4%が女性である。また、大型直売所「さいさいきて屋」の51%が女性出荷者であるほか、JA出資型農業生産法人((株)ファーム咲創)においても、女性の担い手育成に取り組んでいる。
農林水産大臣政務官 賞	埼玉県	加須農林振 興センター	<small>か ぞ</small> 加須地区女性農業者 連絡協議会	女性組織 (女性農業者組織 の連合体)	平成5年に発足し、7組織59名が加入。会員は米、施設野菜、果樹等を生産する専業農家が大部分。会の活動としては、農業情勢に合わせて研修会の開催、活動情報交換等であり、活動に際しては管内3市、農協等と連携している。活動を通じて、県及び3市、農協における審議会委員への登用、農業委員での活躍が進み、平成26年にはほくさい農業協同組合の理事として当連絡協議会の会員1人を含む女性4人が選出された。